

取扱説明書

デジタル・タイヤインフレーター

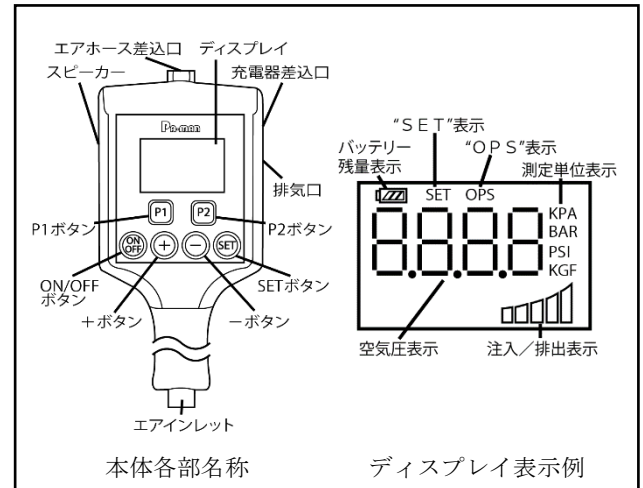
品番：# 4 4 1 5 2 1 7 0 0 0 型式：PDT 1 2 0

1, 使用方法

△注意：使用するコンプレッサーは、本機で**タイヤに充填（設定）する圧力より、200kPa（2.0kgf/cm²）以上高**

くなるものを使用してください。コンプレッサーの能力が低いと、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

- ① 付属の# 3 5 2 8 1 0 0 0 0 0 FR 8 3 4 エアフィルター&レギュレーターの取扱説明書を参考に使用準備を行い、本機とコンプレッサーの間に取り付けてください。
- ② 付属のエアホースを時計回転方向に回してエアホース差込口へ、別売の20PMタイプカプラーを時計回転方向に回して、エアインレットへ確実に固定してください。
- ③ 『ON/OFF』ボタンを長押しすると、電源が入ります。
- ④ 電源が入った状態で、『ON/OFF』ボタンを押すと、バックライトが点灯し、再度押すと消灯します。
- ⑤ 測定単位を変更する場合は、『SET』ボタンを押してください。



ディスプレイに“SET”と表示され、現在選択中の測定単位が点滅します。点滅中に『+』、『-』ボタンを押す毎に、KPA、BAR、PSI、KGFの順番に測定単位を切り換える事が出来ます。最後に『SET』ボタンを押すと変更が完了します（図1参考）。

- ⑥ 電源を切る場合は、『ON/OFF』ボタンを長押しするか、約90秒間操作をしないでください。オートオフ機能により、自動的に電源が切れます。

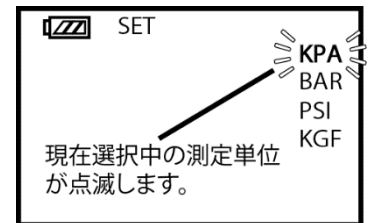


図1

2, 注入/排出方法

※本商品は設定した空気圧まで、**タイヤに自動で空気を注入/排出する商品**です。**手動操作での空気の注入/排出はできません。**

●注入/排出手順

- ① 本機の電源を入れ、注入/排出する空気圧を設定してください。『+』ボタンを押すと設定圧が上がります。『-』ボタンを押すと下がります。ボタンを長押しすると、素早く数値を調整する事が出来ます。
- ② 本機をコンプレッサーと接続してください。
- ③ 使用するタイヤのエアバルブに、チャックを真っ直ぐ、エアが漏れない様に差し込んでください。
- ④ 使用するタイヤ内の空気圧が20kPa（0.2kgf/cm²）以下の場合、『SET』ボタンを3回押し、ディスプレイ表示が図2の状態です。『+』ボタンを押すと自動注入を開始します。設定圧力に達すると自動停止し、ブザーが鳴ります。チャックをエアバルブから外すまで、ブザー音は鳴り続けます（図2、3参考）。
- ⑤ 使用するタイヤ内の空気圧が20kPa（0.2kgf/cm²）以上有る場合、チャックを差し込むと同時に自動注入/排出を開始し、設定圧力に達すると自動停止し、ブザーが鳴ります。チャックをエアバルブから外すまで、ブザー音は鳴り続けます（図3参考）。
- ⑥ 自動注入/排出中に作業を止めたい場合は、『ON/OFF』ボタンを長押しし、本機の電源を切ってください。本機の電源が切れ、自動注入/排出が止まったのを確認後、チャックをエアバルブから取り外してください。

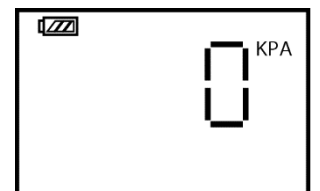


図2

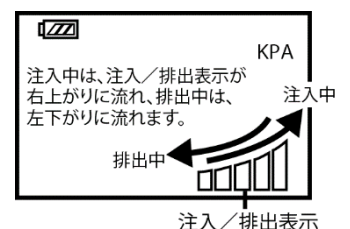


図3

●メモリー機能での注入／排出方法

※メモリー機能とは、よく使用する空気圧を保存しておく機能です。2種類まで保存することが可能です。

※測定単位を変更するとメモリー機能はリセットされ、初期設定に戻ります。

- ① 本機の電源を入れ、『P1』ボタンを押し、ディスプレイにメモリー設定画面を表示させてください。『+』ボタンを押すと設定圧が上がリ、『-』ボタンを押すと下がります。ボタンを長押しすると、素早く数値を調整する事が出来ます。最後に『SET』ボタンを押すと設定が完了します。同様に『P2』ボタンでも保存することが可能です。
- ② メモリー機能を使用して注入／排出を行う場合は、『P1』／『P2』ボタンを押してディスプレイにメモリー設定画面を表示してください。
- ③ 表示後は、『●注入／排出手順』と同様の手順で注入／排出作業を行ってください。

●OPS機能（オーバープレッシャーシステム）

※OPS機能とは、タイヤをホイールへ組み込む際に、設定空気圧+OPS設定空気圧まで空気を注入しタイヤのビード部をホイールへ密着させるための機能です。注入後は、OPS設定空気圧分の空気は排出され、設定空気圧で自動停止し、ブザーが鳴ります。

例：設定空気圧を300kPaに設定し、OPS設定空気圧を100kPaに設定した場合、一度400kPaまでタイヤ内に空気が注入されます。タイヤ内の空気圧が400kPaに到達すると注入作業を終了し、すぐに排出作業へ移ります。最終的に設定空気圧の300kPaで自動停止します。

- ① 本機の電源を入れ、『SET』ボタンを2回押し、ディスプレイにOPS設定画面を表示させてください（図4参考）。

『+』ボタンを押すと設定圧が上がリ、『-』ボタンを押すと下がります。

設定範囲は、10kPa刻みで10～200kPaになります。

最後に、『SET』ボタンを押すと設定が完了します。

- ② 設定後は、タイヤのエアバルブにチャックを差し込んでいない状態で、『SET』

ボタンを3回押し、ディスプレイ表示が図5の状態『+』ボタンを押すとチャック先端からエアが吐出されます。

- ③ ②の状態、使用するタイヤのエアバルブに、チャックを真っ直ぐ、エアが漏れない様に差し込んでください。自動注入を開始し、設定空気圧+OPS設定空気圧まで注入完了後、すぐに排出作業へ移り設定圧力に達すると自動停止し、ブザーが鳴ります。

チャックをエアバルブから外すまで、ブザー音は鳴り続けます（図3、5参考）。

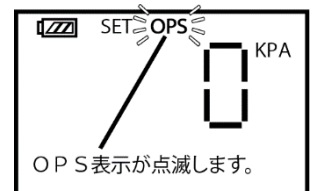


図4

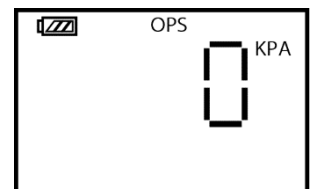


図5

3. 充電方法

- ① バッテリー残量表示は、ディスプレイの左上に表示されます（ディスプレイ表示例参考）。

図6はバッテリー残量の目安になります。

使用後及び、3ヶ月に1度は充電作業を行ってください。

	バッテリー残量80%以上		バッテリー残量20%以上
	バッテリー残量50%以上		バッテリー残量0%

図6

- ② 付属の充電ACアダプターのピンプラグを変換コードのピンジャックに差し込んで接続してください。続いて、変換コードのピンプラグを本機の充電器差込口へ、充電ACアダプターのプラグをAC100Vコンセントへ奥まで確実に差し込むと充電が開始します（図7参考）。

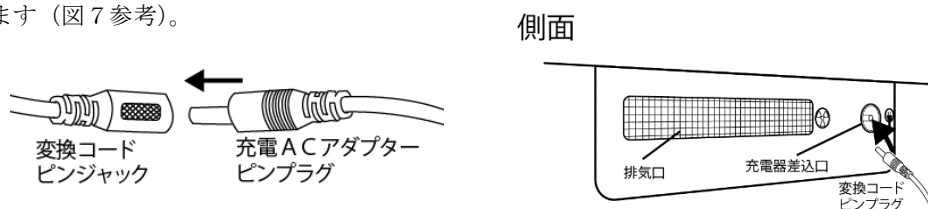


図7

4, トラブルシューティング

エラーメッセージ	症状	対処方法
—	空気が注入されない。	使用するタイヤ内の空気圧が20kPa (0.2kgf/cm ²) 以下になっていないか確認してください。
—	電源が入らない。	充電作業を行ってください。
Err 1	圧力センサーの故障。	販売店へ修理を依頼してください。
Err 2	本機にエアホースが接続されていない。圧力が安定していない。	エアホースの接続を確認してください。接続に異常がない場合は、販売店へ修理を依頼してください。
Err 3	タイヤ内の空気圧が1200kPa (12.2kgf/cm ²) 以上である。	タイヤ内の空気圧を1200kPa (12.2kgf/cm ²) 以下にしてください。
Err 4	空気の供給異常。	エアインレットに別売の20PMタイプカプラーが接続されていることを確認してください。
Err 5	バッテリー電圧の低下。	充電作業を行ってください。
Err 8	コンプレッサー圧力がタイヤの内圧より低い。	コンプレッサーの圧力を確認してください。

5, 注意事項

△危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。)

- ① タイヤメーカーが**指定している空気圧以上は、注入しない**でください。**タイヤが破裂**する恐れがあり、大変危険です。
- ② タイヤへの空気注入/排出作業時は、必ず**タイヤを安全柵に入れた状態**で作業を行ってください。

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ① 本機の**測定範囲は0~1200kPa (0~12.2kgf/cm²)、最大使用空気圧は1200kPa (12.2kgf/cm²)**です。それ以上の空気圧では使用しないでください。
- ② 子供のいる場所では、本機を使用しないでください。
- ③ ディスプレイに表示される空気圧が正確かを定期的に確認してください。設定圧力とタイヤ内の空気圧に誤差がある場合は、直ちに使用を中止してください。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ① 本機の分解、修理、改造は行なわないでください。
- ② 本機は、**タイヤ内の空気圧の測定及び、タイヤに自動で空気を注入/排出する機器**です。その他の用途には使用出来ません。
- ③ 本機は、一部のアルミホイールには使用出来ない場合があります。
- ④ 本機を使用する際は、必ず付属部品を使用してください。付属部品以外を使用すると、正常に作動しない恐れがあります。
- ⑤ 本機に破損箇所がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- ⑥ 使用後及び、3ヶ月に1度は必ず充電作業を行ってください。充電作業は半日以上行わないでください。
- ⑦ 本機は、雨や水、湿気等の影響の受けない場所で使用、保管してください。
- ⑧ 排気口を塞がないでください。
- ⑨ 本機内部にゴミや水が入ると故障の原因になります。必ず、付属の#3528100000 FR834 エアフィルター&レギュレーターを本機とコンプレッサーの間に取り付けてください。
- ⑩ タイヤへの空気の注入/排出中に、チャックをタイヤから取り外さないでください。必ず、空気の注入を停止させてから、チャックを取り外してください。
- ⑪ 本機は精密機器に付き、過度の振動を与えたり、衝撃を与えないでください。
- ⑫ タイヤの圧力が1200kPa (12.2kgf/cm²) 以上の場合、本商品は使用出来ません。タイヤの圧力を減圧して使用してください。

